



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2022/2/21 №72

2月14日 現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた

営業統括センター設置に関する説明申し入れ 団体交渉開催！！

東労組

1. 八王子支社における「現業機関における柔軟な働き方」施策の目的を示すこと。
 - ・各項目の回答に「これまでの硬直的な仕事の垣根を越えた柔軟な働き方…」という表現が多い。現在の仕事では悪いという意味か？
 - ・社員の希望をコミュニケーションを取りつつ把握していくのか？
2. 安全とサービスレベルが上がるその根拠を明らかにすること。
3. この施策とライフサイクル深度化ならびに新たなジョブローテーションとの整合性を明らかにすること。
4. ジョブローテーションの概ね10年がリセットになる異動や担務変更について具体的に示すこと。
5. 「三鷹」「立川」「八王子」「拝島」「大月」「甲府」に各営業統括センターを設立する目的を示すこと。
 - 今後、統括センター化はあるのか？
6. 各営業統括センターの事務所の設置箇所を具体的に示すこと。また、ロッカー・制服などの、貸与や管理方法について考えを示すこと。
7. 地区センター廃止に伴って、地区別に行われていた各現業箇所と地区センターが連携してきた業務について今後の取り扱いを明らかにすること。
8. 各営業統括センターにおける過半数代表のあり方について示すこと。また、この場合の労働基準監督署への届け出や説明が可能である根拠を明らかにすること。

会社

- ・変革2027の実現に向けて、各部の垣根を越えてより柔軟にフレキシブルに働けるようにすることが目的。
- ・硬直的は今までが悪い意味ではない。専門性をなくすことではない。より柔軟にしていく施策である。
- ・社員の希望をコミュニケーションを図りながら聞いていく考えである。
- ・安全はトッププライオリティーである。職場実態に合った運用を行い、安全を損なうような社員運用は行わない。
- ・ライフサイクル深度化ならびに新たなジョブローテーションの考え方を考える施策ではない。
- ・営業統括センターへの移行は異動にあたるが、リセットではない。ケースバイケースもありうるが社員個々の実態を考慮して運用していく。
- ・各営業統括センターの設立は、地域の特情に合わせたものである。
- ・八王子支社は規模的に統括センターは現状無理であるが、今後の可能性はある。
- ・最も合理的な箇所でロッカーを設置していく。
- ・会議室など必要な設備については今後整備していく。
- ・営業統括センターごとに訓練は行うが、その内容によってエリアをまたいで行うこともある。
- ・融雪剤の管理などは営業統括センターごとに行う。
- ・各営業統括センター発足後に、過半数労働組合のない箇所については過半数代表選挙を行う。
- ・法令上の建付けで、発足後過半数代表決定までは各営業統括センター設置駅の代表者が継続する。